

使用法

間接法

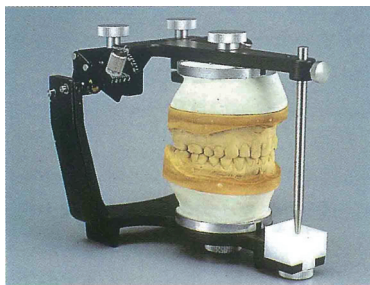
1. 作業模型の準備

通法に従い作業模型を製作し、スプリントに付与したい上下顎の位置関係を咬合器に設定し、作業模型を装着します。その後、咬合器に装着した作業模型上でスプリントの設計を行います。

(お願い)

・ご使用前にジーシーズプリントレジンLCを製品袋のまま、50℃～60℃のお湯に5分程浸漬させます。この時ジーシーズプリントレジンLCを製品袋から取り出して直接お湯に浸漬させますと、圧接時に模型上でスベリ作業がしにくくなりますので、必ず製品袋に入れたままで浸漬してください。

ほとんどの場合には必要ありませんが、圧接する石こう模型の面性状が粗い場合には、小筆などを使用してジーシージュラコート又はワセリンなどを分離材としてスプリントを製作する作業模型面に均一に薄く塗布してください。



2. 概形ラインの設計

ジーシーズプリントレジンLCは、硬化後若干の弾性性質がありますので、歯間部などのアンダーカット部をブロックアウトする場合には完成したスプリントの保持力を考慮して、アンダーカットに少し入り込む位置に概形ラインを設定してください。

(ご注意)

・完成したスプリントレジンLCの保持力は、スプリント辺縁の厚みとアンダーカットへの入り込み量に関係いたしますので、概形ラインの設定時にはこの点に注意してください。加熱重合レジン(アクリルなど)による同種スプリント作成に比べ、ジーシーズプリントレジンLCで製作した場合には概形ラインを若干アンダーカット部に入り込んだ位置で設計してください。



3. 模型への圧接

歯列に添ってジーシーズプリントレジンLCを圧接いたします。この時圧接面に浮きや気泡が入らないように、また咬合面部分の厚みが均一になるようにゆっくりと圧接します。

(ご注意)

・光遮断性のバックを開封後、明るいとこにわずかな時間でも取り出したレジンは、長期保存はできませんので、速やかに使用してください。少量ご使用の場合には、製品バックから取り出したレジンを素早く必要量を切り取り、製品袋へ入れてください。

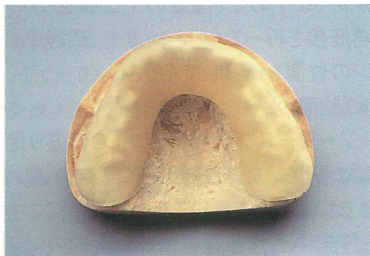
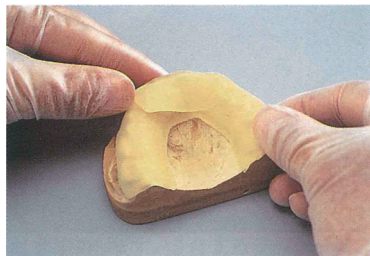
・圧接から成形の一連の作業は、おおよそ20分程度で終了させてください。

・通常の室内光の下で使用してください。強い光を発生する照明用スタンドやデンタルユニットの無影灯下での作業は避けてください。



4. 設計のポイント

右写真のように歯間乳頭部に確実にスプリントレジンLCが入り込み、きちっと圧接ができていることを確認します。補強のため前歯口蓋側にスプリントレジンLCを盛り足します。また、破折を防止するため左右臼歯部頬側部分が薄くならないように注意してください。



5. 辺縁部のトリミング

均一に圧接後全体の成形を行い、辺縁の位置を決定し、余剰部分を技工用彫刻刀などを用いてトリミングします。トリミング後辺縁の形態を整えます。この時辺縁部分に浮きがないことを確認します。

(ご注意)

・圧接時に盛り足しを行う場合には、盛り足し部分がよく馴染み境目がでないように、また気泡が混入しないように注意して圧接してください。



6. 咬合面の形態付け

咬合器上で上下顎の模型を圧接し、ジーシーズプリントレジンLC上に咬合面形態を付与します。

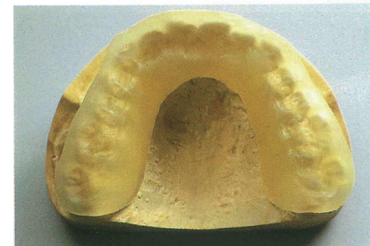
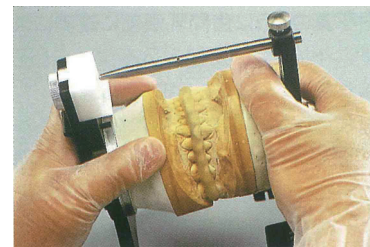
圧接後犬歯ガイドの付与及び咬合面形態の仕上げを行います。

なお、対合歯には、ジーシージュラコート、ワセリンを予め塗布しておきます。圧接によりスプリント辺縁部分が開くことがありますので、確認の上辺縁部分の再圧接を行ってください。また、辺縁ラインの位置を確認してください。

(ご注意)

・ジーシーズプリントレジンLCの盛り足しは可能ですが、圧接時に気泡が混入しないように注意してください。

・作業中や作業後に残った余剰のレジンは、長時間光の照射を受けているため保存はできませんので、ご使用後破棄してください。



7. エアーバリアー材の塗布

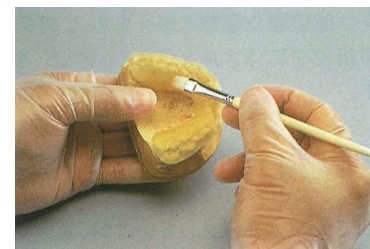
空気と触れているレジン面全体にエアーバリアー材を筆にてまんべんなく塗布します。ただし、模型と接している内面部分にはエアーバリアー材を塗布する必要がありません。

(ご注意)

・他のプライマーなどを使用した筆は絶対に使用しないでください。エアーバリアー材の塗布には専用の筆にてお願いします。

・エアーバリアー材の塗布に使用した筆は、すぐに水洗してください。

・ご使用後はノズルの先に付着した液を拭いてからふたをしてください。



8. 光重合

ジーシーブチライトPL-Iなどの可視光線照射器のテーブルの上に模型ごと設置し、5分間光照射を行い重合を完了させます。レジンが完全に重合したことを確認後、石こう模型を咬合器に再度装着し、咬合調整を行います。

その後、重合したスプリントを石こう模型から注意深く徐々に取り外します。

(ご注意)

・ラボキア HL/L をご使用の場合には光照射時間を 2分 30 秒間、ジーシーラポライト LV- II をご使用の場合には 5 分間、ジーシーラポライト LV- I をご使用の場合には 8 分間に設定してください。

・光の到達しにくい部分がある場合には、ガンタイプ的光照射器により追加照射することをおすすめします。

・光照射時間と硬化深さの目安は下記の表の通りです。硬化深度はランプの使用期間、照射方向により異なりますので、余裕を見て照射時間を長めに設定されることをおすすめします。重合するジーシースプリントレジンLCの厚みが5mm以上の場合には、反対面からも同様に光照射してください。

※硬化深度 (mm) と光照射時間

照射器 \ レジンの厚み	5mm 未満	5mm 以上
ラボキア HL/L	2分 30 秒照射	2分 30 秒照射後反対面を 2分 30 秒照射
ジーシーブチライトPL-I	5分照射	5分照射後反対面を 5分照射
ジーシーラポライトVL-II	5分照射	5分照射後反対面を 5分照射
ジーシーラポライトVL-I	8分照射	8分照射後反対面を 8分照射



9. エアーバリアー材の水洗

重合後エアーバリアー材を水道水で十分に水洗します。

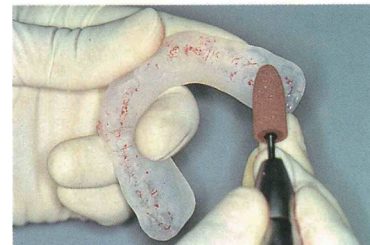
(ご注意)

・重合後エアーバリアー材の水洗が不十分ですと、口腔内に装着する時ににがい味がしますので注意してください。



10. 形態修正と研磨

技工用カーバイトバーやシリコンポイントにより通法にて形態修正と研磨を行います。



11. 試適と調整

完成したスプリントを口腔内へ試適し、調整を行います。調整の過程で不足部分や修正が生じた場合には、常温重合レジン ジーシー ユニファストII クリアーを用いて形態修正を行います。



12. 完成

(患者さんへのご注意)

・口腔内からの着脱時は、装着の歯列に対して垂直に外すように指導してください。



使用法

直接法(緊急応急処置)

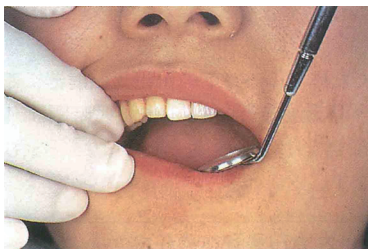
通法に従い印象採得し、作業模型を製作できない緊急の場合に応急処置として直接法で製作することがあります。

1. 前準備

アンダーカットの有無の確認などの口腔内診査終了後、上顎歯列を前歯部、左右臼歯部の3ブロックに分けてジーシースプリントレジンLCを歯列に圧接します。

(お願い)

・ご使用前にジーシースプリントレジンLCを製品袋のまま、50°C~60°Cのお湯に5分程浸漬させます。この時ジーシースプリントレジンLCを製品袋から取り出して直接お湯に浸漬させますと、圧接時に模型上でスベリ、作業がしにくくなりますので、必ず製品袋に入れたままで浸漬してください。

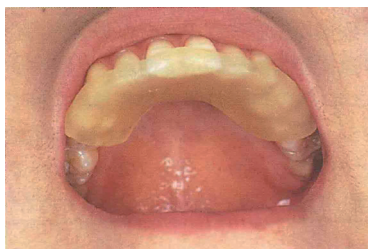


2. 前歯列への圧接

圧接を行う歯列部分をエアーシリンジで十分に乾燥させます。その後上顎の前歯部分にスプリントレジンLCを圧接します。この時圧接面に浮きや気泡が入らないように、また咬合面部分の厚みが均一になるようにゆっくりと圧接します。

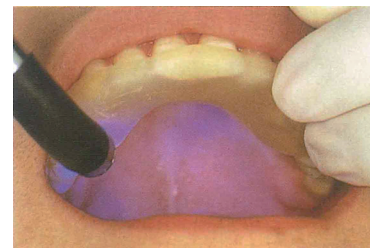
(お願い)

・圧接を行う歯列の乾燥が不十分ですと、圧接時にジーシースプリントレジンLCがスベリ、圧接しにくくなりますので、エアーシリンジで十分に乾燥させてください。



3. 予備重合

前歯部の成形が終了しましたら、スプリント上に付与したい顎位に下顎を誘導し、タッピングを行わせながら下顎前歯部切縁の圧痕を付けます。その後咬合接触点を調整しながら、上下顎の位置関係や挙上させる高さを決めます。歯列からの撤去時や調整時の変形を防ぐため、ガンタイプの可視光照射器にて予備重合を行います。照射時間は、1歯当たり10秒程度まんべんなく照射します。



4. 左右臼歯列への圧接

続いて左又は右臼歯部分をそれぞれ順番に圧接、予備重合、調整の一連の作業を行います。この時連結する部分に気泡や浮きがないように注意します。

(ご注意)

- ・光遮断性のパックを開封後、明るいところでわずかな時間でも取り出したレジンは、長期保存はできませんので、速やかに使用してください。少量ご使用の場合には、製品パックから取り出したレジンを素早く必要量を切り取り、製品袋へ入れてください。
- ・圧接から成形の一連の作業は、おおよそ20分程度で終了させてください。
- ・通常の室内光の下で使用してください。強い光を発する照明用スタンドやデンタルユニットの無影灯下での作業は避けてください。
- ・ジーシースプリントレジンLCは、硬化後若干の弾性性質がありますので、歯間部などのアンダーカット部をブロックアウトする場合には完成したスプリントの保持力を考慮して、アンダーカットに少し入り込む位置に辺縁ラインを設定してください。

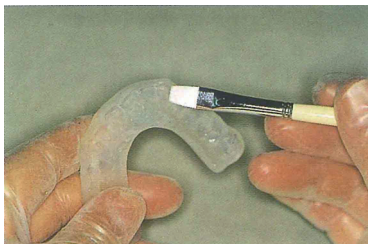


5. エアーバリアー材の塗布

レジン面全体にエアーバリアー材を筆にてまんべんなく塗布します。

(ご注意)

- ・直接法の場合には、エアーバリアー材をスプリント全体に塗布します。
- ・他のプライマーなどを使用した筆は絶対に使用しないでください。エアーバリアー材の塗布には専用の筆にてお願いします。



- ・エアーバリアー材の塗布に使用した筆は、すぐに水洗してください。
- ・ご使用後はノズルの先に付着した液を拭いてからふたをしてください。

6. 光重合

ジーシーブチライトPL-Iなどの可視光線照射器にて5分間光照射を行い重合を完了させます。

(ご注意)

- ・ラボキュア HL/L をご使用の場合には光照射時間を2分30秒間、ジーシーラポライト LV- II をご使用の場合には5分間、ジーシーラポライト LV- I をご使用の場合には8分間に設定してください。



- ・光の到達しにくい部分がある場合には、ガンタイプの照射器により追加照射することをおすすめします。

- ・光照射時間と硬化深さの目安は下記の表の通りです。硬化深度はランプの使用期間、照射方向により異なりますので、余裕を見て照射時間を長めに設定されることをおすすめします。重合するジーシースプリントレジンの厚みが5mm以上の場合には、反対面からも同様に光照射してください。

※硬化深度(mm)と光照射時間

照射器	レジンの厚み	
	5mm未満	5mm以上
ラボキュア HL/L	2分30秒照射	2分30秒照射後反対面を2分30秒照射
ジーシーブチライトPL-I	5分照射	5分照射後反対面を5分照射
ジーシーラポライトVL-II	5分照射	5分照射後反対面を5分照射
ジーシーラポライトVL-I	8分照射	8分照射後反対面を8分照射

7. エアーバリアー材の水洗

重合後エアーバリアー材を水道水で十分に水洗します。

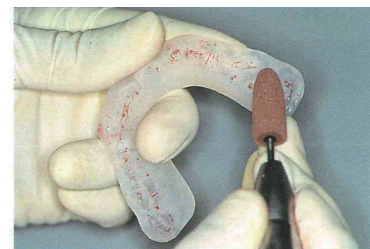
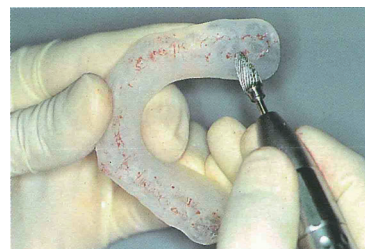
(ご注意)

- ・重合後エアーバリアー材の水洗が不十分ですと、口腔内に装着する時ににがい味がいたしますので注意してください。



8. 形態修正と研磨

技工用カーバイトバーやシリコンポイントにより通法にて形態修正と研磨を行います。



9. 試適と調整

完成したスプリントを口腔内へ試適し、調整を行います。調整の過程で不足部分や修正が生じた場合には、常温重合レジン ジーシー ユニファストII クリアーを用いて形態修正を行います。

(お願い)

前歯部と臼歯部の接合部に補強が必要な場合には、一度接合部をジスクなどを用いて幅1mm程度切断します。その後切断したスプリントを口腔内歯列に戻し、切断部分を常温重合レジン ジーシー ユニファストII で補修、連結を行います。



10. 完成

(患者さんへのご注意)

・口腔内からの着脱時は、装着の歯列に対して垂直に外すように指導してください。

